

# 天の星

No. 3  
平成30年  
6月14日(木)  
発行

## ～5月の校長講話より～

おはようございます。

今日は、3つのこととお話しします。

- ①つめは、このごろの皆さんの様子について
- ②つめは「自分に正直になる」ということについて
- ③つめは、『銀の燭台（しょくだい）』というお話を読みます。

きょう はなし  
今日の話

①このごろの学校の様子

②自分に正直になる

③銀の燭台



まず、①つめ、この頃の皆さんの様子ですが、新しい学年になって1ヶ月以上が経ちました。皆さん一人一人が今年の自分の目標に向かって、頑張っていることと思います。私が校門のところで立っていると、「おはようございます」のあいさつを元気よくしてくれて、ハイタッチをして皆さんから元気のパワーを私にもらっています。中には、ハイタッチはちょっと恥ずかしいと思っている人もいますが、校長先生につきあってタッチをしてくれる人が多くてうれしいです。

皆さんの授業の様子も時々見せてもらっていますが、みんな勉強を頑張っている姿や、先生や友達と仲良くやっている姿を見てとてもうれしいです。

①このごろの学校の様子から



◆これは、先週の全校運動の様子です。全校が揃ってきれいだったけれど6年生は特に格好よかったですね。

◆これは、児童総会です。4・5・6年生が中込小学校を今よりも

もっともっとみんなが仲良く楽しくて、決まりよく生活できる学校にするにはどうしたらよいかを一生懸命考えてくれていました。

◆中込小学校のいいところの一つに掃除があります。どの学年もよくやっていて、わたしは、いつも感心しています。この日は、5年の教室や音楽室がある北校舎に行ってみると、皆は静かに無言清掃に取り組んでいました。

清掃(せいそう)の様子(ようす)



いよいよ音楽会も近づいてきて、きれいな歌声や楽器の演奏があちこちから響いてきています。音楽会の自分の目標に向けて、がんばってください。校長先生もお家の人も音楽会を楽しみにしています。

②自分に正直になる



さて、②つめのお話 「自分に正直になる」ということについてです。「自分が悪いことをした」と分かっていると、怒られたくない、何とかごまかしたいと思いい、つい正直に言えないことがあります。でも、いつか後で必ずわかってしまいます。1番つらいのは嘘をついたりごまかしたりしている自分自身です。『自分に正直になる』ということは『自分を大事にする』ということにもなります。自分に正直になって失敗や間違い

をごまかしたり、嘘を言ったりしない勇気を持って生活していきましょう。

③つめは、『銀の燭台（しょくだい）』というお話を読みます。燭台とはろうそくを立てる台のことです。1，2年生にはちょっと難しい言葉もあるかもしれませんが、がんばって聴いて下さいね。



しっかり  
きいてくれて、  
ありがとう。

さて、ミリエル司教はなぜジャンに銀の燭台まで手渡したのでしょうか、教室で友達や先生と考えてみて下さい。

このお話は、ビクトル・ユーゴー作「ああ無情」の一場面です。この後のジャンの人生がどうなったのか興味のある人は続きを読んでみましょう。

今日（5月21日）から5月25日（金）まで読書週間です。  
図書館の水野先生に、『自分に正直に生きる』ことを教えてくれる本を推薦してもらいましたので紹介します。「大きな木」「しらんぷり」「君たちはどう生きるか」です。もちろんこの他の本でもかまいません。本をたくさん読みましょう。

-----  
【お家の方へ】低学年には、難しいお話だったかなと思いましたが、低学年の子どもたちもよく聞いてくれていて、その学年なりの感想を持ってくれたようです。読書週間は終わってしまいましたが、ゲームやテレビのスイッチをちょっと切って、本を読む時間や家族で過ごす時間を大事にしたいものです。どうぞよろしく願いいたします。